

たまがわ

発行 全損保日動火災外勤支部西東京分会

〒一九〇〇〇三三

東京都立川市錦町一八四

〇四一五二七 五七三二

nishitkyo@inter7.jp

http://www.geocities.jp/nichidogalkin/

団体交渉開催！ 全損保正式認知へ！！

新たな歴史の1ページが 開かれました！！

五月十二日以降一六八日を経過し、初めて会社は全損保日動外勤支部を正式に認知しました。日動外勤支部始まって以来の「スト権の行使」や「業務改善命令」など、組合員におかれましては初めての経験が多い半年間だったと思います。

この半年間、定年退職等の自然減もある状況の中、ほとんど組合員数を減らすことなく推移してきたのは、まさに日動外勤支部の強固な団結力を示す最大の武器であり、会社に全損保を認知させた要因そのものと言っても過言ではありません。

直近の新会社のスタンスは「リテールは手間がかかるものであり、手間がかかるリテールの手当ては行わない」といわんばかりの施策が様々強行

スト中止指令が出されました！

2004年10月27日

スト中止指令

全損保日動外勤支部
闘争委員会
闘争委員長佐藤修二

全損保日動外勤支部第114回支部定期大会で確立した「契約係社員の出退勤に関する規則と勤怠管理ルール」強制に反対するストライキ権に基づくストライキ(9月3日付指令)中止を指令する。本日の団体交渉の中で、支部が会社姿勢をただした結果、当支部を組合として認知すること、便宜供与などについても協議をすすめること、契約係社員制度に係る提案を行なうことを確認し、あわせて、「出退勤に関する規則と勤怠管理ルール」については、本団交で主張した支部の問題意識を受け止め交渉に応じる姿勢に立ったと判断できたため。なお、本件について、ストライキは中止するが合意はしておらず、引き続き問題意識の払拭に向けて交渉をすすめる。問題があった場合の対応などに備え、当面の間、毎週金曜日に提出する「行動管理シート」は、本人控えのコピーを職場ごとに保管すること。

約2ヶ月に亘る各組合員の団結と奮闘が会社を団体交渉の場につかせ、上記の姿勢を引き出しました。支部闘争委員一同感謝し、今後の一層の団結を求めます。

以上

実施されています。契約者の大多数がリテールである我々契約係社員にとっては、まさに死活問題になりかねない事態です。

団体交渉の席上でも正

式な労働組合としての全損保日動外勤支部の主張を聞き協議していくという姿勢を会社は示しています。過去の分裂した他支部の状況を見ると、会社は既成事実を作る為に、会社施策には反対しない労組と雇用条件に触れるような難題を合意し、法廷闘争にも備えると言っ手法が多く用いられているようです。交渉が開始されても油断は出来ません。我々は募集チャネルであるのと

同時に正式に会社と雇用契約を結び、法律で守られた社員でもあります。労働組合活動の遂行により、会社が倒産する事態は本末転倒でありませんが、我々のさやかな主張はその次元の主張で無い事は明らかです。

新会社が我々契約係社員のリテール戦略の明確な方向性を示し、その為の投資、教育、支援を確約した段階で健全な労使関係が築かれたと判断できるのでしよう。事業比率のみを語り資本投下を拒み続け、社員で雇用しておきながら社員教育に対する責任を放棄し、営業は自己責任であると言いつつ経営の姿勢は健全な労使関係の下地にはなり得ないことは言うまでもありません。

事実これまで繰り返されてきた会社の不当労働行為を懸念し、新労組に身を寄せていた元全損保組合員の判断は尊重します。共に会社姿勢を正し強固な団結の元、我々契約係の将来を構築していく思いのある契約係社員の活動への参加を正式な認知がなされた今、改めて呼びかけます。書記局までお問い合わせ下さい。